

平成 30 年度 NPO 法人もったいない学会通常総会

日 時 2018 年 6 月 26 日 (火) 14 時 15 分から 15 時まで
場 所 貸し会議室：東京都港区浜松町 1-1-9 三恵ビル 4 階

【総会資料】

■ 次第

1. 開会

2. 総会成立要件の確認

定款第 26 条により、総会は、正会員総数の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会することはできない、とあります。

3. 会長挨拶

4. 議長の選出

定款第 25 条により、総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する、とあります。

5. 議事録署名人選任

定款第 29 条（総会の議事録）により、議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人 2 人が、記名押印又は署名しなければならない、とあります。議事録署名人について、議長より本日出席の正会員の 2 名を指名し、お諮りします。

6. 議題審議

定款第 27 条により、総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる、とあります。

- (1) 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び決算報告の件
- (2) 第 2 号議案 平成 30 年度事業計画及び予算計画の件
- (3) 第 3 号議案 役員(理事・監事)の選任の件

7. 閉会

第1号議案 平成29年度事業報告及び決算報告の件

I. 平成29年度事業報告

(概況)

皆様のご支援、ご協力のもと、社会に貢献できる学会に発展させるべく、精力的に活動を行いました。以下に活動状況の詳細をご報告いたします。

【参考：定款で定められている学会の目的は以下の通りです】

「この法人は、広く一般市民に“石油ピーク”を啓蒙し、石油を大切に使う方策を検討し、その知識、知恵を広く一般に広げることによって、心豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。」

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

- ・ 実施無し

2) サロンの開催

以下のように、4回のサロンを実施した。

2-1) 第1回サロン

第1回サロン (6月27日)

沈みゆく日本、どう支える未来世代のため

開催日時：2017年6月27日(火) 15:30～17:00

開催場所：東京大学農学部内、向ヶ岡ファカルティハウス

■15:30～16:30

【講演1】

「地球は有限、資源は質が全て」、エントロピーの法則

「人類生存の科学—日本列島で生きる」

3つのキーワード 「食糧、エネルギー、軍事」

石井 吉徳名誉会長

■16:30～17:00

【講演2】

エネルギー輸入国におけるエネルギー収支とQOL(Quality of life)の国際比較 — 我が国の科学・技術劣化とその影響の将来展望

松島 潤 (東京大学)

2-2) 第2回サロン

もったいない学会勉強会 第1回

2017年度 第2回サロン (9月7日)

地殻変動列島で生きる道

開催日時：2017年9月7日(水) 15:30-17:15

開催場所：東京大学農学部内、向ヶ岡ファカルティハウス

■15:30～16:30

【講演1】

「日本列島で生きる道、脱原発は訴訟弁護団と「地球は有限、資源は質が全て」論、脱「資本主義、グローバリゼーション」も皆さんと」

石井 吉徳名誉会長

■16:30～17:15

【講演2】

「地下に伏在する断層をどのように検知し評価するか? —最新技術とその不確実性」

松島 潤 (東京大学)

2-3) 第3回サロン

2017年度 第3回サロン (12月12日)

「これから起こること、日本はどう備える」

開催日時：2017年12月12日(火) 15:00-17:00

開催場所：東京大学農学部内、向ヶ岡ファカルティハウス

■15:00 ～ 16:00

【講演 1】

「かならず速かに起こるべき事、文明崩壊に日本はどう備える」

石井 吉徳名誉会長

■16:00 ～ 17:00

【講演 2】

「野生動物への放射線影響調査のための野生動物装着型センサネットワーク研究」

小林博樹（東京大学 空間情報科学研究センター、科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業（さきがけ））

2-4) 第 4 回サロン

2017 年度 第 4 回サロン（2 月 6 日）

フリー・トーキング

開催日時：2018 年 2 月 6 日（火）13:30-17:00

開催場所：ビジョンワークス東京

東京都中央区日本橋 3 丁目 3-3 八重洲山川ビル 5F ROOM 1

■13:30 ～ 14:00

【話題 1】

世界情勢を考える（仮題）

発表者：石井 吉徳 名誉会長

■14:00 ～ 15:00

【話題 2】

原発問題の基本的問題を考える

発表者：芦田 譲 京都大学名誉教授

3) その他の啓蒙活動として、コラムサイト（シフトム）を通じた情報発信、シンポジウム・サロン講演資料の会員限定公開を実施した。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

・ 4 回開催。

（平成 29 年 6 月 27 日、9 月 7 日、12 月 12 日、4 月 7 日）

・ 適宜メール審議

2) 総会

通常総会を 1 回開催した（平成 29 年 6 月 27 日）。

3. 会員の状況

会員の現況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

※カッコ書きは前年度

正会員：107 名（119 名）

一般会員：96 名（104 名）

学生会員：2 名（2 名）

賛助会員：2 名（2 名）

計：208 名（227 名）

II. 平成 29 年度決算報告

下記資料を参照下さい。

・ 収支計算書（案）

・ 貸借対照表（案）

・ 財産目録（案）

・ 監査報告書

第 2 号議案 平成 30 年度事業計画及び予算計画の件

平成 30 年度事業計画（案）

【方針】石油ピークが早晚、石油減耗に至る転換期にあるとの時代認識を共有し、自然と共生する低エネルギー社会などの理念の実現に向けて、社会へ情報発信を行う。具体的には、理解のためには専門的知識を必要とする社会に生きるさまざまな資源、エネルギー、環境に関する科学・技術を科学的、中立的に研究し、その成果を体系的にかつ国民が理解できる内容でまとめて発信して、平和的な文明転換の国民的な活動強化に貢献する。

具体的には入会金と年会費無料の「支援会員」を設け、積極的にSNSで公開されている動画、インターネットでアクセスできる優れた報文、優れた書籍などを紹介し、情報を共有する会員を増やす。さらに学術大会、シンポジウム、サロンを開催して成果をまとめ、もったいない学会の電子出版としてインターネットを通じて公開し、有料会員を増やす。

1. 学会事業活動

1) 学会 WEB の発信力向上

調和性・戦略性を十分吟味することにより情報発信力の向上につとめ、信頼・支持される学会 WEB を構築する。学会 WEB、コラムサーバ等におけるコンテンツ内容・構成の工夫に努める。具体的取組として、

- ・ホームページの構造と内容の改善および運用方法改善による学会の基本的情報活動強化
- ・学会コラム誌シフトムの機能改善、および学会役員、会員の投稿の強化。学会役員の見本投稿数の設定。
- ・SNS (Facebook, Twitter 等) への学会役員、会員の参画の拡充

2) シンポジウムの開催

シンポジウムを1回以上程度開催する。東京一極集中から地方分散の考えを踏まえ、その際地域での普及も重視した地方開催も予定する。

3) サロンの開催

サロンを4回程度開催する。

4) 研究会の開催

平成30年度より「Limited Earth 研究会」を設立し、数回勉強会を開催する。

5) 出版事業

・WEB 会誌発行

「もったいない学会 WEB 学会誌」の編集・公開業務を行う。特集号を企画する等して論理深度を深める。

・啓蒙・教育を目的とした新規刊行物の作成・出版・販売として電子出版事業を、国際的な発行を含めて計画する。

6) 表彰など

顕著な事業を行っている活動者・団体を顕彰する。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

5回程度開催する。

・学会の活動の執行機関として、理事の役割分担と協同の体勢の向上を図り、会員と社会の真の進歩に貢献する。

2) 総会

通常総会を1回開催し、必要に応じて臨時総会を開催する。

平成 29 年度

会計貸借対照表

平成30年 3月31日現在

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	743,109		
未収入金			
.....			
流動資産合計		743,109	
2 固定資産			
土地			
建物			
車両運搬具			
.....			
固定資産合計		0	
資産合計			743,109
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
未払金	0		
.....			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金			
.....			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	840,268		
当期正味財産増減額	-97,159		
正味財産合計		743,109	
負債及び正味財産合計			743,109

平成29年度

会計財産目録

平成30年 3月31日現在

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

科 目	金 額 (単位：円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金		
普通預金	743,109	
未収入金		
未収会費		
.....		
流 動 資 産 合 計	743,109	
2 固定資産		
土地		
建物		
車両運搬具		
.....		
固 定 資 産 合 計	0	
資 産 合 計		743,109
II 負債の部		
1 流動負債		
未払い金		
預り金		
短期借入金		
流 動 負 債 合 計	0	
2 固定負債		
長期借入金		
退職給与引当金		
.....		
固 定 負 債 合 計	0	
負 債 合 計		0
正 味 財 産		743,109

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 タイトルの年度の後の空欄部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては、「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別業として作成する。
- 3 定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、前事業年度に実施しなかった場合でも収入支出0円の収支計算書を作成する。
- 4 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する支出で、管理費以外のものをいい、会計処理上は、事業の種類毎に区分して記載する。事業費の例としては、「〇〇事業費」（注 当該事業の実施のために直接要する人件費・交通費等の費用が含まれる。）というように事業毎に記載する。
- 5 重要な会計方針等を計算書類に対する注記を欄外下に記載する。
（重要な会計方針とは、原価償却の方法及び資金の範囲等をいう。）
- 6 管理費の支出規模（管理費の合計）は、総支出額（事業費及び管理費の総計）に占める割合の2分の1以下であることが必要。（事業費>管理費）
（詳しくは東京都における運用方針参照のこと。）
- 7 特定非営利活動促進法第5条第1項により、その他の事業において収益を生じたときは、これを特定非営利活動のために使用しなければならないとあるので、その他の事業の収益は特定非営利活動に係る事業会計に全額繰り入れることが必要。
（詳しくは東京都における運用方針参照のこと。）

監査報告書

私は、定款に基づき、平成 28 年度の事業報告書、収支決算書の監査をした結果、いずれも適正かつ正確に執行されていたことを認めます。

2018 年 6 月 25 日

もったいない学会

監事 佐藤 裕久

佐藤 裕久

(自書)

印